

全力！ 地区対抗リレー

今年の体育大会もクライマックスに差し掛かったころ、地区対抗リレーが行われました。5つの地区に分かれて、代表を決め、それぞれの地区の全学年を呼んで活動タイムも練習しました。代表の名に恥じないような競技を心がけていました。競争するときも大事だけど、入場や退場も代表の名に恥じない演技だなと思いました。

バトンパスや足の速さも大事ですが、いくらいい勝負をしたって、入場や退場がダラダラしていたら人は感動してくれないので、ふだんの入場行進の通常練習の時のように、しっかりと足を上げ、胸を張って前を向きながら入場や退場をしていました。

代表として一番大事なのは、代表としての責任だと僕は思います。今回のみんなの思いは勝ちたいという思いもあったけど、何より自分たちが代表として出ている、他の出られなかった人の分も頑張るという思いです。その思いがあったからこそこんなに素晴らしい勝負を繰り広げてくれたと思います。順位が高いこともいいけど、思うような成績が出なかったチームの人も代表の名に恥じないように、最後まであきらめずに走りきることができました。

それまでの練習の成果が、本番のアクシデントでうまくいなくて努力が報われなくても、最後まで精一杯走りぬこうとしているリレー選手に心を打たれました。努力すれば必ずうまくいくことを、これからの糧として6年生は中学校へ、ほかの学年の人は頑張ってもらいたいです。

みんなこのチームワークを次の学年でも続けて、来年も素晴らしい勝負を見せてほしいです。

